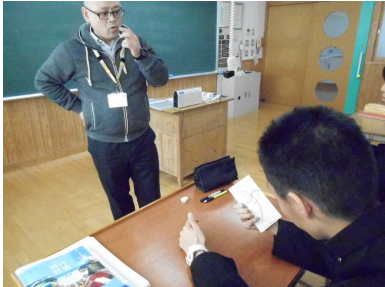


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜盲学校 事業実施報告書①

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【岐阜県】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	岐阜県立岐阜盲学校 普通科1，3年生（4名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（現代社会） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・オリンピック・パラリンピックの歴史を学ぶことで、共生社会の進展について学ぶことができる。
5 取組内容	○パラリンピックと障がい者スポーツについて学んだ。 ① パラリンピックと視覚障がい者 ② ゴールボールの歴史 ③ パラリンピックの歴史 ④ 「リハビリテーション」から「アスリートの競技社会」へ ⑤ 第2回東京大会で生まれたもの ①～⑤を通して、平等、共生について考えることができた。 
6 主な成果	生徒の感想 ・リハビリからスポーツに切り替わってきたことで、皆が平等にスポーツを楽しむことができることが素晴らしい。 ・皆が平等に競い合うことができることが良かった。 等の感想を聞くことができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	・全国障がい者スポーツ大会は生徒たちが目指して参加してきた大会である。その大会が第2回パラリンピック東京大会から引き継がれてきた大会であることを伝えることで、身近な大会とオリンピックが繋がっていることを感じてほしいと思い教材とした。
8主な課題等	・オリンピック・パラリンピックについて学ぶことで、開催地決定の社会情勢等を交えて学んでいきたい。
9来年度以降の実施予定	・歴史的な面からも取り入れていきたい。